

平成22年9月27日発行

## 龍ヶ崎監督署の掲示板

編集発行: 竜ヶ崎労働基準監督署  
龍ヶ崎市川原代町4区6336-1  
〒301-0005 0297(62)3331

### 1 竜ヶ崎地区全国労働衛生週間準備打合せが開催されました。

「全国労働衛生週間準備打合せ会」が9月10日、竜ヶ崎文化会館にて開催されました。

講師の土浦協同病院地域がんセンター長大原潔先生から「ここまで来たガンの放射線治療」についての講話があり、放射線治療の現状を分かりやすく説明されました。

また、今年も10月1日から7日まで「心の健康維持・増進 全員参加でメンタルヘルス」をスローガンに第61回全国労働衛生週間が実施されます。

茨城県内における昨年の業務上疾病による休業4日以上の被災者は161人であり、一般定期健康診断の結果、何らかの所見を有する労働者の割合は53.5%(全国52.3%)と増加を続けております。各事業場においては労働者の心とからだの健康づくりに努めましょう。



#### 【労働衛生管理セミナー開催のお知らせ】

竜ヶ崎地方事業所健康づくり対策連絡会及び茨城県南地域産業保健センター(問合せ先0297-79-1066)では、事業場におけるメンタルヘルス不調者への取り組みに対し、安全衛生関係者・実務担当者向けの講演会を開催します。

日時 平成22年11月22日(月)午後1時30分から4時まで

会場 (社)竜ヶ崎労働基準協会 2階学科講習室

講演 「メンタル不調による休職者の職場復帰の進め方」

講師 武田繁夫 先生 三菱化学(株)

人事部健康支援センターグループマネージャー

### 2 高齢労働者に対する安全で健康に働ける職場づくり

わが国は、急速な高齢社会に移行しつつあり、雇用労働者全体のうち50歳以上の高齢労働者の占める割合は約3割となっています。

このような中で、高齢労働者は、災害発生率が若年労働者に比べて高くなっており、年齢階層別の年千人率をみると、50歳代で30歳代の1.5倍、60歳以上ではさらに高くなっています。また、茨城県における平成11年・16年・21年の年代別労働災害発生を見るに、20歳代以下の占める割合が減少し、60歳代以上が増加しています。(下図)



高齢労働者がその活力を失わずにその能力を十分に発揮できる職場を作ることが企業や社会全体の活力を維持するために大切なこととなっています。

### 高齢労働者に配慮した職場改善

職務配置に当たって判断や記憶の能力に関する配慮

例 作業内容を明確にし、具体的に指示する。

作業時間短縮と作業時間帯への配慮

例 勤務形態、勤務時間に選択の幅を持たせる。

作業スピード・筋力の低下・生理機能低下への配慮

例 とっさの反応を必要とする作業を無くす。 重量物の持ち上げ等を無くす。

十分な休憩時間を設ける。 曲げ、伸ばし、ひねりが極力少ない作業となるよう工夫する。

事故の防止や負担を低減するための作業環境の(安全面・視覚や聴覚機能面)の配慮

例 段差を無くす又は表示する。 滑りやすい歩行路を無くす。

文字サイズを大きくする。 掲示物は見やすく工夫する。

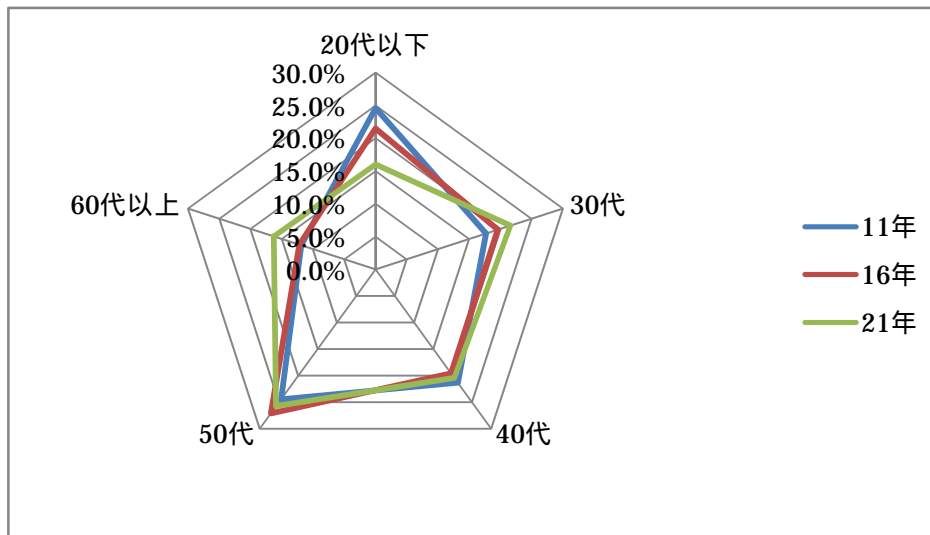
健康管理

例 健康に関するアドバイスを受けられる環境を整え、必要な情報を提供する。

労働衛生教育等の配慮

例 高齢労働者の個人差に関する労働衛生教育を行う。

### 平成 11 年・16 年・21 年の年代別労働災害発生割合



### 3 労働基準監督署の課名が平成 22 年 10 月 1 日から変わります。

現在、龍ヶ崎労働基準監督署の組織は第1課、第2課、第3課と3課制になっていますが、来月から、その呼び方が下記のとおり変わります。

なお、名称のみの変更で担当業務、受付窓口の変更はありません。

第1課	監督課 (監督・庶務業務担当)
第2課	安全衛生課 (安全衛生業務担当)
第3課	労災課 (労災業務担当)